

Acer プロジェクタ

P5260E/P5260EP/P1165E/P1165EP

シリーズ
ユーザーガイド

Copyright © 2007. Acer Incorporated.
All Rights Reserved.

Acer プロジェクタ P5260E/P5260EP/P1165E/P1165EP シリーズ ユーザーガイド
初版：10/2007

このドキュメントに記載されている情報は、事前の通知なしに、定期的に改訂や変更することがあります。これらの変更は、新しい版のマニュアルや、補足ドキュメントあるいは出版物に収録されます。弊社は、このドキュメントの内容に関して、明示的または黙示的に表明または保証するものではなく、商品性および特定目的への適合性の黙示的保証を含め、いかなる保証もいたしかねます。

次の欄にモデル番号、シリアル番号、購入日、購入店を記入してください。シリアル番号とモデル番号は、コンピュータに貼ってあるラベルに記載されています。装置についてのお問い合わせの際には、シリアル番号、モデル番号、購入情報をお知らせください。

このマニュアルの著作権は、Acer Inc. にあります。Acer Inc. に対する文書による許諾なしに、電子的、機械的、光学的、手書き、その他の手段により本書の内容を複写、伝送、転写、検索可能な形で保存、他言語への翻訳、コンピューター言語へ変換することを禁止します。

Acer プロジェクタ P5260E/P5260EP/P1165E/P1165EP シリーズ

モデル番号： _____

シリアル番号： _____

購入日： _____

購入場所： _____

Acer と Acer ロゴは Acer Incorporated の登録商標です。本書に記載されるその他の会社の製品名または商標は識別のみに使用されており、それらの所有権は各社に帰属します。

「HDMI、HDMI ロゴと High Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。」

本製品を安全かつ快適にお使いいただくために

次の指示をしっかりお読みになってください。この文書は将来いつでも参照できるように保管しておいてください。製品に記載されている警告と指示には必ずしたがってください。

製品のお手入れを始める前に、電源を切ってください

お手入れを始める前に、コンセントから電源プラグを抜いてください。液体クレンザーやエアゾールクレンザーはご使用にならないでください。湿らせた布で拭くだけに留めてください。

装置取り外しの際のプラグに関するご注意

外部電源コードを接続したり、外したりする際は、次の点にご注意ください：

- コンセントに電源コードを接続する前に、電源ユニットを装着してください。
- コンピュータから電源ユニットを外す前に、電源コードを外してください。
- システムに複数の電源が接続されている場合は、電源からすべての電源コードを外してください。

アクセスに関するご注意

電源コードを接続するコンセントは、装置からできるだけ近く、簡単に手が届く場所にあることが理想的です。装置から電源を外す場合は、必ずコンセントから電源コードを外してください。



警告！

- 水場の近くで本製品を使用することはお止めください。
- 本製品を不安定なカード、スタンド、机の上に設置することはお止めください。製品が落下すると、重大な損傷を引き起こす原因となります。
- スロットや孔は本製品を正常に作動させ、また過熱から保護するための通気用に設けられたものです。これらの孔を塞いだり、覆ったりしないでください。本製品をベッド、ソファ、絨毯、その他類似したモノの上に設置するなどして通気孔を塞がないでください。

本製品を放熱物または過熱装置の近くまたはそれらの上に設置したり、適切な通気孔が設けられていない作り付けの棚に設置したりすることはお止めください。

- 本製品のキャビネットスロットに異物を押し込むと、危険な電圧が流れるパーツに触れたり、パーツがショートしたりするなどして、火災や電気ショックの原因となります。製品を液体で濡らさないでください。

- 内部パーツが破損したり、バッテリー液が漏れたりする場合がありますので、本製品は必ず安定した場所に設置してください。
- スポーツ場、スポーツジム、あるいは振動の激しい場所に本製品を設置すると、予期せぬショートを引き起こしたり、ローターデバイスやランプが破損する場合があります。

電力の使用

- 本製品はラベルに記載されているものと同じ電源で操作しなければなりません。電源の種類が不明な場合は、販売店かお住まい地域の電力会社にお問い合わせください。
- 電源コードの上にモノを載せないでください。また人がコードにつまづきやすい場所に本製品を設置することもお止めください。
- 本製品を延長コードに接続する場合は、その延長コードに接続しているすべての装置の合計アンペア数が延長コードのアンペア数を超えないように注意してください。また、コンセントに接続しているすべての製品の合計レートがヒューズ値を超えないように注意してください。
- 複数の装置を1つのコンセントやストリップ、ソケットに接続すると負荷がかりすぎてしまいます。システム全体の負荷は、支路の80%を目安にこれを超えないようにしてください。電源ストリップを使用する場合は、電源ストリップの入力値の80%を超えないようにしてください。
- 本製品のACアダプターには3線接地プラグが付いています。このプラグは接地されたコンセントでしか使用できません。ACアダプターのプラグを差し込む前に、コンセントが正しく接地されていることを確認してください。接地されていないコンセントには挿入しないでください。詳細は、電気技師にお尋ねください。



.....

警告！ 接地ピンは安全対策用に設けられています。正しく接地されていないコンセントを使用すると、電気ショックや負傷の原因となります。



.....

注意： 接地ピンは、本製品とその近くにある他の電気装置との干渉により生じるノイズを防止する役割も果たします。

- 本製品には本製品に同梱されている専用の電源コードセットのみをご使用ください。電源コードセットを交換する必要がある場合は、新しい電源コードが次の条件を満たしていることを確認してください：取り外し可能なタイプ、UL にリストされていること / CSA 認証を受けていること、SPT-2 タイプ、最低 7A 125V、VDE 認証または同等の認証を受けていること、最長 4.6 メートル。

補修

ユーザーご自身で本製品を補修することはお止めください。カバーを開けたり、外したりすると、危険な電圧が流れるパーツに触れたり、その他の危険性があります。修理については、資格のあるサービスマンにお尋ねください。

次のような場合は、本製品をコンセントから外し、専門のサービス担当者へ補修を依頼してください：

- 電源コードやプラグが破損している、切れている、または磨耗しているとき
- 製品内部に液体をこぼしてしまったとき
- 製品を雨や水で濡らしてしまったとき
- 製品を落したり、ケースが破損したとき
- 製品の性能が著しく変わり、補修の必要性を示すとき
- 操作手順にしたがって操作しているにも関わらず、正常に作動しないとき



.....

注意：取り扱い説明書に記載されている場合を除き、その他のパーツを無断で調整するとパーツが破損する場合があります。その場合、許可を受けた技術者が補修する必要があるため正常の状態に戻すまでに時間がかかります。



.....

警告！安全のために、コンポーネントを追加または交換する際は、本製品専用のパーツをご使用ください。オプション製品の購入については、販売店へお尋ねください。

この装置およびそのアクセサリ類には小さいパーツが含まれている場合があります。これらは小さいお子様の手の届かない場所に保管してください。

その他の安全のためのご注意

- プロジェクタのランプがオンになっているときには、絶対にレンズを覗き込まないでください。光線が強力なため、視覚障害を引き起こす恐れがあります。
- 先にプロジェクタをオンにしてから、信号ソースをオンにします。
- 本製品を次のような場所に設置しないでください：
 - 通気が悪い、または壁と密接した場所。壁から最低でも 50cm は離し、プロジェクタの周囲の通気を十分に保つことが必要です。
 - 窓を締め切った車内など、温度が極度に高温になる場所。
 - 高湿度、あるいはホコリやタバコの煙が立ちやすい場所に設置すると、光学コンポーネントが汚れ、製品の寿命を短縮したり、画像が暗くなったりします。
 - 火災警報器の近く。
 - 温度が 40 °C/104 °F 以上になる場所。
 - 海拔 3000 メートル以上の場所。
- プロジェクタに異常が発生した場合は、直ちに電源コードを外してください。プロジェクタから煙が立ったり、ノイズや異臭がするときには、プロジェクタの操作をお止めください。火災や電気ショックの原因となります。このような場合は、直ちに電源コードを外し、販売店へお問い合わせください。

- 本製品が破損したり、落下したりした場合は、ご使用をお止めください。このような場合は、購入された販売店へ検査を依頼してください。
- プロジェクタのレンズを太陽に向けしないでください。火災の原因となります。
- プロジェクタの電源を切る前に、冷却サイクルが完全に完了したことを確認してから電源を外してください。
- プロジェクタが作動しているときにメインの電源を突然切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。ランプの破損、火災、電気ショック、その他の問題を引き起こす恐れがあります。ファンが完全に停止してからメインの電源を切るようお薦めします。
- 通気用格子や底のプレートは高温になりますので絶対に触れないでください。
- エアフィルタは定期的にお手入れしてください。フィルタ / 通気用スロットがホコリやゴミで汚れていると、内部の温度が上がり故障の原因となります。
- プロジェクタが作動しているときに通気用格子を覗き込まないでください。目の障害を引き起こす恐れがあります。
- プロジェクタがオンになっているときには、必ずレンズシャッターを開いておくか、レンズキャップを外してください。
- プロジェクタが作動しているときにプロジェクタのレンズを塞ぐと、塞いでいる異物が過熱して変形したり、火災の原因になったりします。ランプを一時的にオフにするには、プロジェクタまたはリモコンで [HIDE] を押してください。
- 作動時はランプは非常に高温になります。ランプを交換する場合は、作業を開始する前に約 45 分間待ってプロジェクタを完全に冷却させてください。
- ランプは記載された時間を超えて使用しないでください。まれにランプが破裂する場合があります。
- プロジェクタの電源コードを接続したままでランプやその他の電子コンポーネントを交換しないでください。
- 本製品はランプの寿命を自動的に検出します。警告メッセージが表示されたら、ランプを交換してください。
- ランプを交換する場合は、本体を完全に冷却し、交換の手順に忠実に仕様がしてください。
- ランプモジュールを交換した後は、画面に表示される [Management] メニューから [Lamp Hour Reset] 機能をリセットしてください。
- このプロジェクタを解体しないでください。本体内部には高電圧が流れるパーツがあり、ケガを引き起こす恐れがあります。お客様ご自身で補修できる部分は専用の取り外し可能なカバーがあるランプのみです。補修は許可を受けた専門の技術者にお尋ねください。
- プロジェクタを縦に立てた状態にしないでください。プロジェクタが落下してケガや破損の原因となります。
- 本製品は天井に取り付けるために画像を逆転させて表示することができます。プロジェクタを天井に取り付ける場合は、Acer 天井取り付けキットをご使用になり、確実に設置されていることを確認してください。

遠隔操作を行う場合の操作環境（オプション）



警告！安全のために、次のような状況でコンピュータを使用する場合はワイヤレス装置や無線装置をすべて切ってください。これらの装置とは次のものを含みますが、それだけに限りません：無線 LAN (WLAN)、ブルートゥース、3G などが含まれます。

お住まい地域の規定にしたがってください。また使用が禁止されている場所または干渉や危険を引き起こす可能性がある場所では、必ず装置の電源を切ってください。装置は必ず正常な操作位置でご使用ください。この装置は正常な状態で使用するとき RF 被爆規定に準拠します。装置とアンテナは使用者から 1.5 センチ以上離れた場所に設置してください（下図参照）。金属は絶対に使用せず、装置は上記に記載した条件で設置してください。

データファイルやメッセージを転送するには、ネットワーク接続の状態が良くなければなりません。場合によっては、接続が使用できるようになるまでデータファイルやメッセージの転送が遅れる場合があります。

転送が完了するまで、上記の距離に関する指示に従ってください。

装置の一部は磁気になっています。装置が金属を引き付ける場合がありますので、聴覚保護装置をお使いの方は、聴覚保護装置を使用した耳にこの装置を当てないでください。装置の近くにクレジットカードやその他の磁気記憶装置を置かないでください。それらに保管されている情報が消去される場合があります。

医療装置

ワイヤレス電話を含む無線通信装置を操作すると、保護が不十分な医療装置の機能に障害を与える恐れがあります。それらが外部無線周波から適切に保護されているかどうかについて、またその他のご質問については、医師または医療装置メーカーにお尋ねください。医療施設内で装置の電源を切ることが指示されている場合は、その指示にしたがってください。病院や医療施設では、外部無線周波の影響を受けやすい装置を使用している場合があります。

ペースメーカー：ペースメーカーの製造元は、ペースメーカーとの干渉を防止するために、ワイヤレス装置とペースメーカーの間に 15.3 センチ以上の距離を置くよう推奨しています。独立したリサーチ機関、およびワイヤレス技術リサーチ機関も同様の推奨をしています。ペースメーカーをご使用の方は、次の指示にしたがってください：

- 装置とペースメーカーの間には必ず 15.3 センチ以上の距離を保ってください。
- 装置の電源が入っているときには、ペースメーカーの近くに装置を置かないでください。干渉が生じていることが予想される場合は、装置の電源を切り、別の場所に保管してください。

聴覚保護装置：デジタル無線装置の中には、聴覚補助装置と干渉を起こすものがあります。干渉を起こす場合は、サービスプロバイダにお問い合わせください。

乗り物

無線周波信号は、電子燃料注入システム、電子滑り止め、ブレーキシステム、電子速度制御システム、エアバッグシステムなどのモーター自動車に不正に装着された電子システムや、防止が不十分な電子システムに影響を与える場合があります。詳細については、自動車または追加した装置のメーカーまたはその代理店にご確認ください。装置の補修、および自動車への装置の取り付けは指定された技術者が行ってください。補修や装着は正しく行わなければ大変危険であり、装置に付帯された保証を受けることができなくなります。自動車の無線装置はすべて、正しく装着されていることと、正常に作動していることを定期的にチェックしてください。装置、そのパーツ、またはアクセサリ類と同じ場所に可燃性液体、ガス、あるいは爆発の危険性がある素材と一緒に保管したり、運送したりしないでください。エアバッグが搭載された自動車は強い衝撃を受けるとエアバッグが膨らみます。エアバックの上またはエアバッグが膨らむ場所に無線装置（装着済みまたは携帯用を含む）などを設置しないでください。車内に無線装置が正しく装着されておらず、エアバッグが作動してしまった場合は、重大な傷害を引き起こす恐れがあります。

飛行機内でこの装置を使用することは禁止されています。搭乗前に装置の電源を切ってください。機内で無線電話装置を使用すると、飛行機の操縦に危害を与えたり、無線電話ネットワークを中断させたりする場合があります、法律により禁止されている場合もあります。

爆発の可能性がある環境

爆発の危険性がある場所では、かならず装置の電源を切り、表示されている注意や指示にしたがってください。爆発の危険性がある場所とは、通常自動車のエンジン切るよう指示される場所を含みます。このような場所でスパークすると爆発や火災の原因となり、身体に傷害を与えたり、死亡に至る場合があります。ガソリンスタンドの近くなど、燃料補給エリアでは装置の電源を切ってください。燃料補給所、貯蔵所、配送エリア、化学工場、爆発性の作業が行われている場所では、無線装置の使用に関する規定にしたがってください。爆発の危険性がある場所には、通常（ただし必ずではありません）そのことが明記されています。そのような場所とは、船舶の船室、化学薬品の運送または貯蔵施設、液体石油ガス（プロパンガスまたはブタンガス）を使用する自動車、粒子、ホコリ、あるいは金属粉末などの化学物質や粒子を空に含む場所などが含まれます。

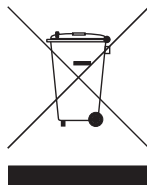
聴覚保護

聴覚障害を引き起こさないために、次の指示に従ってください。

- 音量を上げるときには、適度なレベルになるまで少しずつ音量を調整してください。
- 耳が音に慣れた後は、音量を上げないでください。
- 長時間高音量で音楽を聴かないでください。
- 周囲のノイズを遮断しようとして、それ以上に高音で音楽を聴かないでください。
- 近くで人が話している声が聞こえない程のレベルに音量を上げないでください。

廃棄のための注意

本電子製品を破棄する場合は、ゴミ箱に捨てないでください。地球環境を保護し、公害を最低限に留めるために、再利用にご協力ください。電子および電器装置の破棄に関する規定についての詳細は、<http://global.acer.com/about/sustainability.htm> をご覧ください。



水銀についての注意

LCD/CRT モニタまたはディスプレイを含むプロジェクタまたは電子製品：



本製品に使用されているランプには水銀が含まれているため、お住まい地域のゴミ処理に関する規定、条例、法律に従って再利用または処理してください。詳しくは、Electronic Industries Alliance にお問い合わせください (www.eiae.org)。ランプの破棄については、www.lamprecycle.org をご覧ください。

ご使用になる前に

ご使用上の注意

次の指示にしたがってください：

- お手入れを始める前に、必ず製品の電源を切ってください。
- ディスプレイケースはマイルドな洗剤で濡らした布で拭いてください。
- 長期間製品をご使用にならない場合は、コンセントから電源プラグを外してください。

次のようなことはお止めください：

- 通気用のスロットや穴を塞がないでください。
- 研磨性クレンザー、ワックス、溶剤で本体のお手入れをしないでください。
- 次のような環境では本製品をご使用にならないでください：
 - 極度の高温、低温、高湿度の環境。
 - ホコリや汚れがひどい場所。
 - 強力な磁場を発する場所の近く。
 - 直射日光が当たる場所。

ご使用前の注意

本体を長くお使いいただくために、本書に記載されているすべての警告と注意、およびメンテナンス上の注意にしたがってください。



警告：

- プロジェクタのランプがオンになっているときには、絶対にレンズを覗き込まないでください。光線が強力なため、視覚障害を引き起こす恐れがあります。
- 火災や電気ショックの原因となる場合がありますので、本製品を雨に濡らしたり、湿気の多い場所に放置したりしないでください。
- 電気ショックの原因となる場合がありますので、本製品を開けたり、解体したりしないでください。
- ランプを交換する際は、まずユニットを十分に冷却した上で交換手続きに正確にしたがってください。
- 本製品は自動的にランプの寿命を検出します。警告メッセージが表示されたら、ランプを交換してください。
- ランプモジュールを交換した後、画面に表示される [Management] メニューから [Lamp Hour Reset] 機能をリセットしてください。
- プロジェクタの電源を切る前に、冷却サイクルが完全に完了したことを確認してから電源を外してください。
- 先にプロジェクタをオンにしてから、信号ソースをオンにします。
- プロジェクタ使用中は、レンズキャップをはめないでください。
- ランプが寿命に達するとランプが焼き切れてしまい、小さい爆発音がある場合があります。このような場合は、ランプモジュールを交換しなければプロジェクタをオンにすることはできなくなります。ランプを交換するには、「ランプの交換」に記載されている手順にしたがってください。

目次

本製品を安全かつ快適にお使いいただくために	iii
ご使用になる前に	x
ご使用上の注意	x
ご使用前の注意	x
はじめに	1
プロジェクタの機能	1
パッケージ内容	2
プロジェクタの概要	3
プロジェクタの外観	3
コントロールパネル	4
リモコンのレイアウト	5
はじめましょう	8
プロジェクタの接続	8
プロジェクタのスイッチを入れる	9
プロジェクタの電源を入れる	9
プロジェクタの電源を切る	10
投射画像の調整	11
投射画像の高さを調整する	11
画像サイズと距離の最適化	12
距離とズームにより画像サイズを調整するには	14
ユーザーコントロール	16
Acer Empowering Technology	16
オンスクリーン ディスプレイメニュー (OSD)	17
カラー設定	18
画像の設定	19
電力管理設定	21
オーディオ設定	24
言語設定	25
付録	26
トラブルシューティング	26
LED と アラームの説明	30
ランプの交換	31

天井取り付け	32
仕様	35
互換性モード	37
規定と安全のための注意	42

はじめに

プロジェクタの機能

このプロジェクタはシングルチップ DLP® プロジェクタです。本製品には次のような優れた機能が備わっています：

- DLP® テクノロジ
- P5260E/P5260EP：ネイティブ解像度 1024 x 768 XGA
P1165E/P1165EP：ネイティブ解像度 800 x 600 SVGA
縦横比 4:3 / 16:9 に対応
- ColorBoost テクノロジにより鮮明でパステル画のような色性能を実現
- 2800 ANSI ルーメンおよびコントラスト比率 2100:1 の優れた明度レベル
- あらゆる状況に対応する多様なディスプレイモード (Bright、Standard、Video、Blackboard、User 1、User 2)
- NTSC/PAL/SECAM 対応、HDTV (720p、1080i) 対応
- ランプを上から取り付けられるため取り替えが簡単
- ランプの寿命を 5000 時間まで延長する省電力と ECO モード
- 設定調整を容易にする Acer Empowering 機能 (eView、eTimer、eOpening) を呼び出す EMPOWERING キー
- P5260E/P5260EP：HDCP に対応する DVI および HDMI™ 接続を装備
P1165E/P1165EP：HDCP に対応する DVI 接続を装備
- 高度なデジタルキーストーン補正による最適なプレゼンテーション
- 多言語音声スクリーンディスプレイ (OSD) メニュー
- フル機能リモコン
- 最高 1.1 倍の手動フォーカス投射レンズズーム
- デジタルズーム 2 倍およびパン機能
- Microsoft® Windows® 2000、XP、Vista OS 対応

パッケージ内容

このプロジェクトには下図に示すアイテムが含まれています。すべてのアイテムが揃っていることを確認してください。不足しているアイテムがある場合は、直ちに本製品をお買い上げになった販売店へお問い合わせください。



ランプキャップ付き
プロジェクタ



電源コード



VGA ケーブル



コンポジットビデオ ケーブル



バッテリー 2 個



キャリーケース



DVI-D ケーブル
(P5260E シリーズ)



セキュリティカード



ユーザーガイド



リモートコントロール

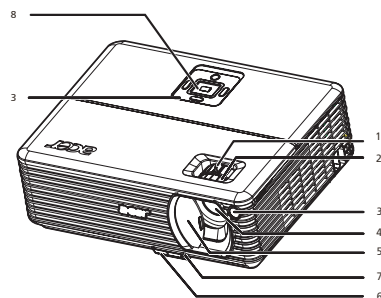


クイックスタートガイド

プロジェクタの概要

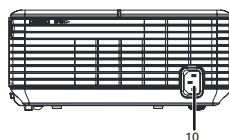
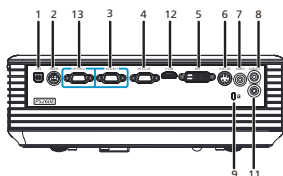
プロジェクタの外観

前面 / 上部



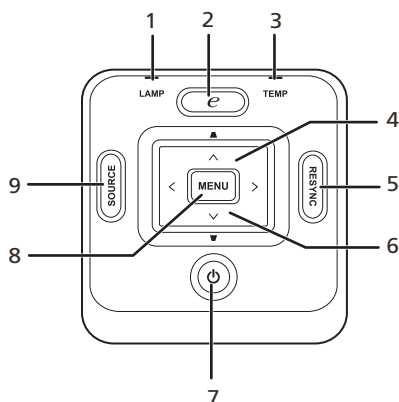
#	説明	#	説明
1	ズームリング	5	レンズキャップ
2	フォーカスリング	6	高さ調整ボタン
3	リモコン レシーバー	7	高さ調整フット
4	ズームレンズ	8	コントロールパネル

背面



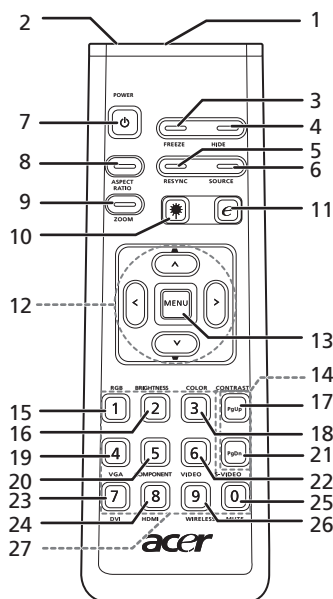
#	説明	#	説明
1	USB コネクタ	8	オーディオ入力コネクタ (1)
2	RS232 コネクタ	9	Kensington ロックポート
3	PC アナログ信号 /HDTV/ コンポーネントビデオ入力コネクタ (1)	10	電源ソケット
4	モニターアウト - 出力コネクタ経由 (VGA-Out)	以下は P5260E/P5260EP シリーズにのみ提供されるアイテムです。	
5	DVI 入力コネクタ (HDCP 機能によるデジタル信号)	11	オーディオ入力コネクタ (2)
6	S-Video 入力コネクタ	12	HDMI コネクタ
7	コンポジットビデオ入力コネクタ	13	PC アナログ信号 /HDTV/ コンポーネントビデオ入力コネクタ (2)

コントロールパネル



#	機能	説明
1	LAMP	ランブインジケータ LED
2	EMPOWERING キー	Acer 専用機能 : eOpening、eView、eTimer Management。
3	TEMP	温度インジケータ LED
4	キーストーン	プロジェクタが傾斜しているために生じる画像の歪みを補正します (± 40 度)。
5	RESYNC	プロジェクタを自動的に入力ソースに同期させます。
6	四方向選択キー	▲ ▼ ◀ ▶ はアイテムを選択したり、選択内容を調整したりするときに使用します。
7	電源	「 プロジェクタのスイッチを入れる 」セクションをお読みください。
8	MENU	• [MENU] ボタンを押すと、オンスクリーンディスプレイメニュー (OSD) を起動したり、OSD メニューの前のステップに戻ったり、OSD メニューを終了したりすることができます。 • 選択したアイテムを確認します。
9	SOURCE	[SOURCE] ボタンを押すと、RGB、コンポーネント、S-Video、コンポジット、DVI、HDTV、HDMI などのソースを選択できます。

リモコンのレイアウト



#	アイコン	機能	説明
1		赤外線通信器	プロジェクタに信号を送信します。
2		レーザーポインタ	リモコンを表示スクリーンに向けてください。
3		FREEZE	スクリーンの画像を一時停止します。
4		HIDE	ビデオを一時的に非表示にします。画像を非表示にするには [HIDE] ボタンを押します。画像を再び表示するには、もう一度このボタンを押してください。
5		RESYNC	プロジェクタを自動的に入力ソースに同期させます。
6		SOURCE	[SOURCE] ボタンを押すと、RGB、コンポーネント -p、コンポーネント -i、S-Video、コンボジット、DVI-D、ビデオ、HDTV などのソースを選択できます。
7		POWER	「 プロジェクタのスイッチを入れる 」セクションをお読みください。
8		ASPECT RATIO	任意の縦横比を選択します (Auto/4:3/16:9)。
9		ZOOM	プロジェクタのディスプレイを拡大 / 縮小します。
10		レーザーボタン	リモコンをスクリーンに向けてこのボタンを押したままにすると、レーザーポインタが作動します。この機能は日本市場ではサポートされません。
11		EMPOWERING キー	Acer 専用機能：eOpening、eView、eTimer Management。

#	アイコン	機能	説明
12	・ ・ ・ ・	キーストーン 4 個の方向選択 キー	プロジェクタが傾斜しているために生じる画像の歪みを補正します (± 40 度)。 アイテムを選択したり、選択内容を調整したりするには、上、下、左、右ボタンを使用します。
13		MENU	[MENU] ボタンを押すと、オンスクリーンメニュー (OSD) を起動したり、OSD メニューの前のステップに戻ったり、OSD メニューを終了したりすることができます。 - 選択したアイテムを確認します。
14		ページ	コンピュータモード専用です。次のページや前のページを選択するときに使用します。この機能は USB ケーブルを使用してコンピュータに接続している場合にのみ有効です。
15		RGB	RGB にトグルして、赤 / 緑 / 青を調整します。
16		BRIGHTNESS	[BRIGHTNESS] を押して、画像の明るさを調整します。
17		CONTRAST	[CONTRAST] オプションは、画像の中で最も明るいエリアと最も暗いエリアの差を調整します。
18		COLOR	[COLOR] を押すと画像の色温度を調整できます。
19		VGA	[VGA] を押すとソースを VGA に変更できます。このコネクタはアナログ RGB、YPbPr (480p/576p/720p/1080i)、YCbCr (480i/576i) と RGBsync に対応しています。
20		COMPONENT	[COMPONENT] を押すとソースをコンポーネントビデオに変更できます。このコネクタは YPbPr (480p/576p/720p/1080i) と YCbCr (480i/576i) に対応しています。
21		S-VIDEO	ソースを S-Video に変更します。
22		VIDEO	ソースをコンポジットビデオに変更します。
23		DVI	[DVI] を押すとソースを DVI に変更します。この接続はデジタル RGB、アナログ RGB、YPbPr (480p/576p/720p/1080i)、YCbCr (480i/576i)、HDCP などの信号に対応しています。
24		HDMI™	ビデオソースを HDMI™ に変更します。(HDMI™ コネクタが装備されたモデルのみ)
25		MUTE	ボリュームをオン / オフにします。
26		WIRELESS	このモデルでは使用できません。
27		キーパッド 0 ~ 9	[0 ~ 9] を押して、[セキュリティ設定] にパスワードを入力します。

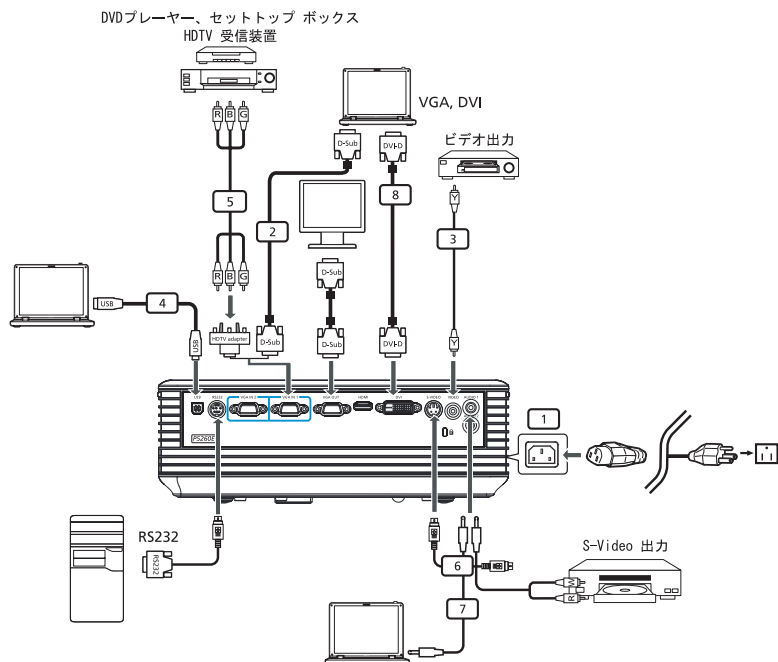
注意：

日本語



はじめましょう

プロジェクタの接続



#	説明	#	説明
1	電源コード	6	Sビデオケーブル
2	VGA ケーブル	7	オーディオケーブル
3	コンポジットビデオ ケーブル	8	DVI ケーブル
4	USB ケーブル	9	HDMI ケーブル (P5260E/P5260EP シリーズ)
5	VGA -コンポーネント /HDTV アダプター		

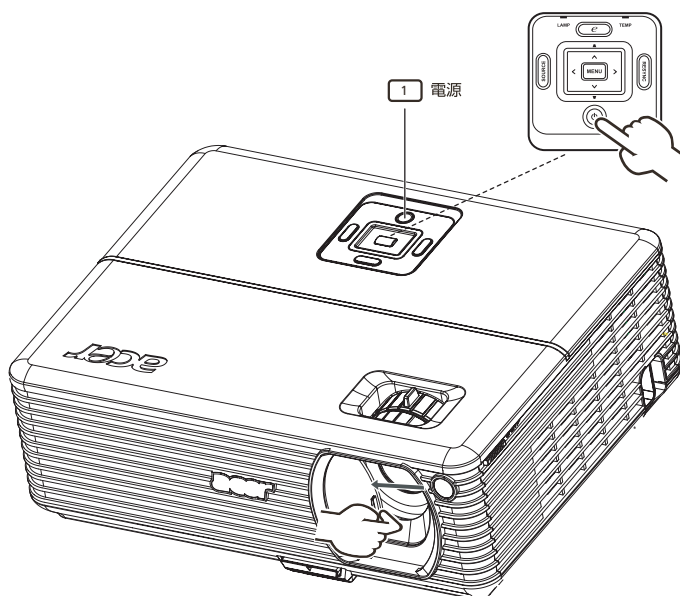


注意： コンピュータを正常に接続するために、ディスプレイモードのタイミングがプロジェクタに対応していることを確認してください。

プロジェクタのスイッチを入れる

プロジェクタの電源を入れる

- 1 レンズドアをスライドさせます。
- 2 電源コードと信号ケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。電源 LED が赤く点滅します。
- 3 コントロールパネルの [電源] ボタンを押してランプをオンにすると、電源 LED が青く点灯します。
- 4 ソース (コンピュータ、ノートブック、ビデオプレーヤなど) の電源を入れます。プロジェクタが自動的にソースを検出します。
 - スクリーンに [Lock] アイコンと [Source] アイコンが表示された場合は、プロジェクタがそのソースタイプをロックし、そのようなタイプの入力信号が見つからないことを意味しています。
 - [No Signal] というメッセージが表示された場合は、信号ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
 - 同時に複数のソースを接続する場合は、コントロールパネルかリモコンの [Source] ボタンを使用するか、リモコンのソースキーを使用して入力ソースを切り替えてください。



プロジェクタの電源を切る

- 1 プロジェクタの電源を切るには、[電源] ボタンを2回押します。すると下の
ようなメッセージが5秒間表示されます。
[Please press power button again to complete the shutdown process.]
- 2 電源を切った直後は電源インジケータ LED が赤くすばやく点滅し、ファンが
約 120 秒間作動し続けます。これは確実にシステムを冷却するためです。
- 3 システムが冷却を完了すると、[電源] インジケータ LED が赤く点灯し、プロ
ジェクタがスタンバイモードに入ったことを知らせます。
- 4 このような状態になって初めて電源コードを抜くことができます。



.....

**警告：電源を切ってすぐにプロジェクタの電源を入れることはお止
めください。**



.....

注意：プロジェクタの電源を入れたい場合は、最低でも60秒経っ
てから [電源] ボタンを押してプロジェクタを再起動してください。



.....

警告インジケータ：

- プロジェクタが自動的にシャットダウンし、**LAMP** インジケータが赤く
点灯した場合は、お近くの販売店かサービスセンターへお問い合わせく
ださい。
- プロジェクタが自動的にシャットダウンし、**TEMP** インジケータが赤く
点灯した場合は、プロジェクタが過熱していることを示しています。プ
ロジェクタが過熱しようとしているときには、スクリーンに次のような
メッセージが表示されます：

[Projector Overheated. Lamp will automatically turn off soon.]

- **TEMP** インジケータが赤く点滅し、次のようなメッセージが表示された
場合は、お近くの販売店かサービスセンターへお問い合わせください：
[Fan fail. Lamp will automatically turn off soon.]

投射画像の調整

投射画像の高さを調整する

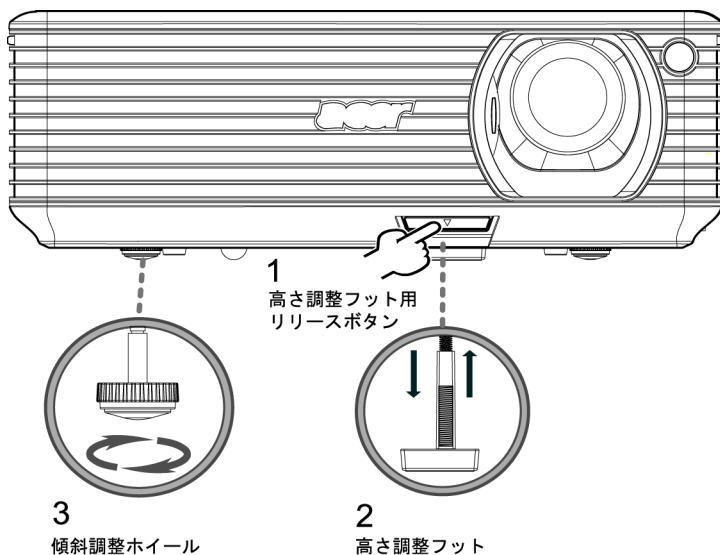
このプロジェクタには高さ調整用のフットが装備されています。

画像の高さを上げるには：

- 1 調整フットリリース ボタンを押します。(図 1)
- 2 画像が任意の高さになるようにフットを調整し(図 2)、リリースボタンを押して調整フットを固定します。
- 3 傾斜調整ホイール(図 3)を使って表示角度を調整します。

画像の高さを下げるには：

- 1 調整フットリリース ボタンを押します。(図 1)
- 2 画像が任意の高さになるようにフットを調整し(図 2)、リリースボタンを押して調整フットを固定します。
- 3 傾斜調整ホイール(図 3)を使って表示角度を調整します。

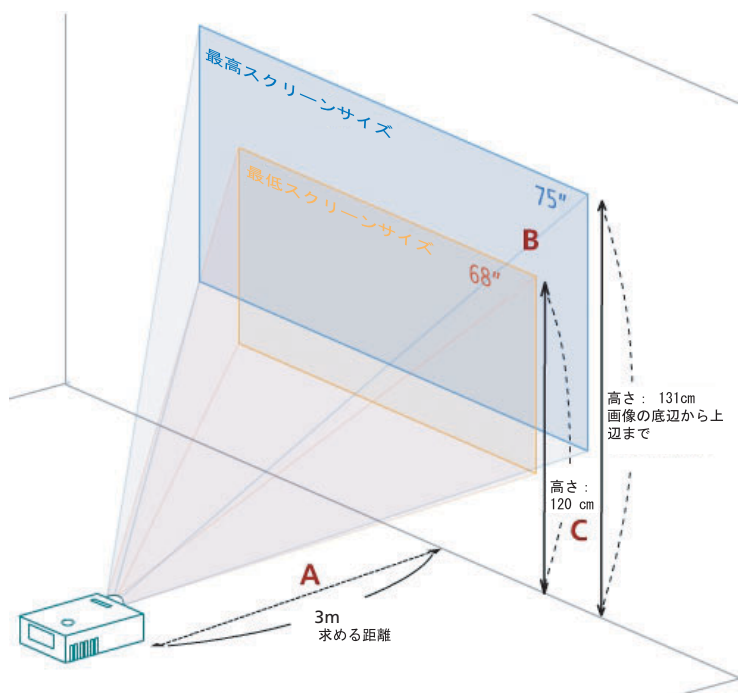


画像サイズと距離の最適化

プロジェクタとスクリーンの距離によって最適な画像サイズを割り出すには、下の表を参照してください。例えば、プロジェクタとスクリーンの距離が3m のとき、画像サイズを 68" から 75" の範囲にすると良い画質が得られます。



注意：下の図に示す通り、プロジェクタとスクリーンの距離が3m のときには高さ131cm のスペースが必要です。

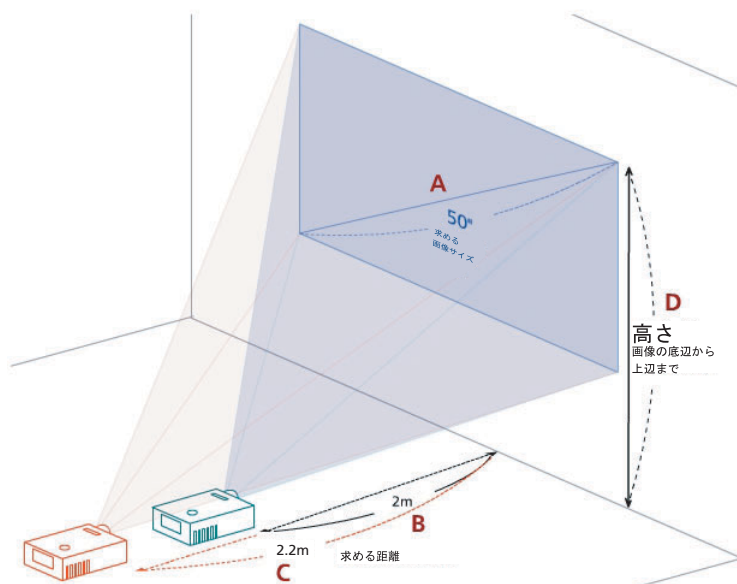


図：異なるズーム倍率とスクリーンサイズによる一定距離。

求める 距離 (m) < A >	最低スクリーンサイズ (最低ズーム)			最高スクリーンサイズ (最大ズーム)		
	対角 (インチ) < B >	幅 (cm) x 高さ (cm)	画像の底辺 から上辺 まで (cm) < C >	対角 (インチ) < B >	幅 (cm) x 高さ (cm)	画像の底辺 から上辺 まで (cm) < C >
1.5	34	69 x 52	60	37	76 x 57	66
2	46	93 x 69	80	50	102 x 76	88
2.5	57	116 x 87	100	62	127 x 95	109
3	68	139 x 104	120	75	152 x 114	131
3.5	80	162 x 122	140	87	178 x 133	153
4	91	185 x 139	160	100	203 x 152	175
4.5	103	208 x 156	180	112	228 x 171	197
5	114	231 x 174	200	125	254 x 190	219
6	137	278 x 208	240	150	305 x 228	263
7	159	324 x 243	280	175	355 x 266	306
8	182	370 x 278	319	200	406 x 305	350
9	205	417 x 313	359	225	457 x 343	394
10	228	463 x 347	399	250	508 x 381	438
11	251	509 x 382	439	275	558 x 419	482
12	273	556 x 417	479	300	609 x 457	525

ズーム倍率: 1.1x

距離とズームにより画像サイズを調整するには



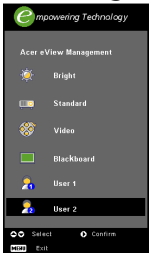
下の表は位置またはズームリングにより任意の画像サイズを調整するための方法を示しています。例えば、画像サイズを 50" にするには、プロジェクタとスクリーンの距離を 2m から 2.2m の範囲に離し、ズームレベルを調整します。

求める画像サイズ		距離 (m)		上 (cm)
対角 (インチ) < A >	幅 (cm) x 高さ (cm)	最大ズーム < B >	最低ズーム < C >	画像の底辺から上辺 まで (cm) < D >
30	61 x 46	1.2	1.3	53
40	81 x 61	1.6	1.8	70
50	102 x 76	2.0	2.2	88
60	122 x 91	2.4	2.6	105
70	142 x 107	2.8	3.1	123
80	163 x 122	3.2	3.5	140
90	183 x 137	3.6	4.0	158
100	203 x 152	4.0	4.4	175
120	244 x 183	4.8	5.3	210
150	305 x 229	6.0	6.6	263
180	366 x 274	7.2	7.9	315
200	406 x 305	8.0	8.8	351
250	508 x 381	10.0	11.0	438
300	610 x 457	12.0		526

ズーム倍率 : 1.1x

ユーザーコントロール

Acer Empowering Technology

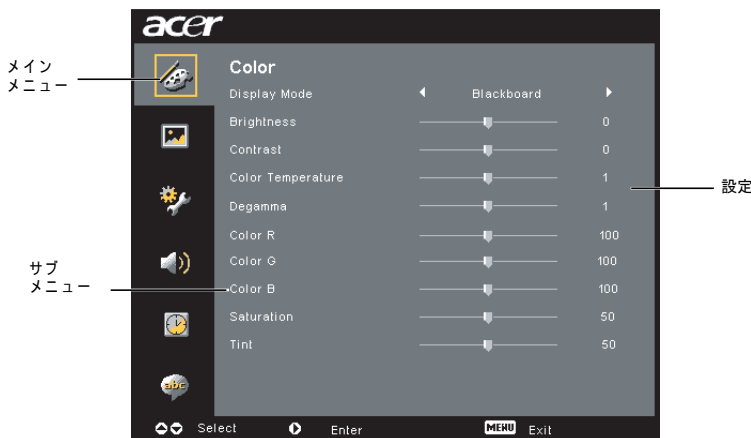
EMPOWERING  キー 	Acer EMPOWERING キーは Acer eView Management、Acer eTimer Management、Acer eOpening Management の 3 つの Acer 独自の機能を実行します。[] キーを 1 秒以上押すと、オンスクリーン メインメニューが表示されますのでその機能を変更することができます。
Acer eView Management 	[] を押すと [Acer eView Management] のサブメニューが開きます。 [Acer eView Management] はディスプレイモードを選択するための機能です。詳細は「オンスクリーン ディスプレイメニュー (OSD)」をお読みください。
Acer eTimer Management 	[] を押すと Acer eTimer Management のサブメニューが開きます。 [Acer eTimer Management] はプレゼンテーション時間を管理するための機能です。詳細は「オンスクリーン ディスプレイメニュー (OSD)」をお読みください。
Acer eOpening Management 	[] を押すと Acer eOpening Management のサブメニューが開きます。 [Acer eOpening Management] は起動時スクリーンをユーザーが選択した画像に変更する機能です。詳細は「オンスクリーン ディスプレイメニュー (OSD)」をお読みください。

オンスクリーン ディスプレイメニュー (OSD)

このプロジェクトには画像の調整やさまざまな設定を調整するための、多言語によるオンスクリーン ディスプレイメニューが備わっています。

OSD メニューの使い方

- OSD メニューを開くには、リモコンかコントロールパネルで **[MENU]** を押してください。
- OSD が表示されたら、  キーを使ってメインメニューのアイテムを選択します。任意のアイテムを選択したら、 を押すと機能設定のためのサブメニューに入ります。
-   キーを使って任意のアイテムを選択し、  キーを使って設定を調整します。
- サブメニューで次に調整するアイテムを選択し、上記の手順で調整を行ってください。
- リモコンかコントロールパネルで **[MENU]** を押すと、メインメニューに戻ります。
- OSD メニューを終了するには、リモコンかコントロールパネルで再び **[MENU]** を押してください。OSD メニューが終了し、プロジェクトが自動的に新しい設定を保存します。



カラー設定



Display Mode	さまざまな種類の画像を最適化するためのプリセットが多数用意されています。 • Bright : 輝度を最適化します。 • Standard : フルカラーを最適化します。 • Video : 明るい場所でビデオを再生するためのモードです。 • Blackboard : 暗い色の面に画像を投射するときに表示された色を向上させます。 • User 1 : ユーザー設定を保存しておくことができます。 • User 2 : ユーザー設定を保存しておくことができます。
Brightness	画像の輝度を調整します。 • ◀ を押すと画像を暗くします。 • ▶ を押すと画像を明るくします。
Contrast	画像の中で最も明るいエリアと最も暗いエリアの差を調整します。コントラストを調整すると、画像の黒と白の量が変更されます。 • ◀ を押すとコントラストが低くなります。 • ▶ を押すとコントラストが高くなります。
Color Temperature	色温度を調整します。色温度を高くするほど、スクリーンが寒色に近くなり、色温度を低くすると暖色に近くなります。
Degamma	暗いシーンの表示に影響を与えます。ガンマ値を上げるほど暗いシーンがより明るくなります。
Color R	赤を調整します。
Color G	緑を調整します。
Color B	青を調整します。
Saturation	モノクロのビデオ映像を完全なカラー映像に調整します。 • ◀ を押すと映像の色の量が減少します。 • ▶ を押すと映像の色の量が増加します。
Tint	赤と緑のバランスを調整します。 • ◀ を押すと緑の量が増加します。 • ▶ を押すと赤の量が増加します。



注意：[Saturation] と [Tint] 機能はコンピュータモードと DVI モードでは使用できません。

画像の設定



Keystone	プロジェクタが傾いているために生じた画像の歪みを調整します。 (± 40 度)
Aspect Ratio	任意の縦横比を選択してください。 - Auto：画像の元々の幅と高さの比率を維持し、ネイティブの縦横のピクセルに合わせて画像を最大化します。 4:3：画像はスクリーンに合わせてリサイズされ、4:3 の比率で表示されます。 16:9：画像はスクリーンの幅に合わせてリサイズされ、高さは 16:9 の比率に合わせて調整されます。
Projection	正面－デスクトップ デフォルト設定です。
	正面－天井 天井に取り付けるため、プロジェクタは画像を反転させます。

	背面—デスクトップ 透明なスクリーンの背後から投射するため、プロジェクタは画像を逆転させます。
	背面—天井 プロジェクタは画像の反転と逆転を同時に行います。このモードでは、天井取り付けにより背後から透明なスクリーンに投射することができます。
H. Position (水平位置)	 を押すと画像を左に移動させます。  を押すと画像を右に移動させます。
V. Position (垂直位置)	 を押すと画像を下に移動させます。  を押すと画像を上を移動させます。
Frequency	[Frequency] はプロジェクタのリフレッシュレートをコンピュータのグラフィックカードの更新間隔に合わせて変更します。投射画像に縦につらつく線が走る場合は、この機能を使って調整を行ってください。
Tracking	ディスプレイの信号タイミングをグラフィックカードと同期させます。画像が安定しない、あるいはちらつく場合は、この機能を使って補正してください。
Sharpness	画像の鮮明度を調整します。  を押すと鮮明度が低くなります。  を押すと鮮明度が高くなります。



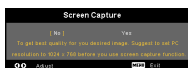
注意：[H. Position]、[V. Position]、[Frequency]、[Tracking] などの機能は DVI モードとビデオモードでは使用できません。

注意：[Sharpness] 機能は DVI モードとコンピュータモードでは使用できません。

電力管理設定



省電力モード	このモードを選択すると、プロジェクトのランプを暗くして電力消費量を削減し、ランプの寿命を延長させると同時にノイズを軽減することができます。[off] を選択すると、標準モードに戻ります。
Auto Shutdown (分)	信号入力が指定した時間以上検出されない場合、プロジェクトは自動的にシャットダウンします。(分単位)
Source Lock	この機能を [Off] にすると、現在の入力信号が失われたときにプロジェクトが別の信号を検出します。[On] にすると、リモコンで [SOURCE] ボタンを押して次のチャンネルを選択するまで現在のソースチャンネルをロックします。
Menu Location	ディスプレイスクリーン上に表示するメニューの位置を選択します。
Startup Screen	任意の起動時スクリーンを選択してください。設定を変更すると、変更内容は次回 OSD メニューを起動するときに有効となります。 - Acer : Acer プロジェクトのデフォルトの起動時スクリーンです。 - User : [Screen Capture] 機能を使って保存した画像を使用します。
Screen Capture	起動時スクリーンをカスタマイズします。起動時スクリーンとして使用したい画像をキャプチャするには、次の手順にしたがってください。 注意 : 次の手順を実行する前に、[Keystone] 値がデフォルト値の0に設定され、縦横比が 4:3 に設定されていることを確認してください。詳細は「画像の設定」をお読みください。 - 起動時スクリーンをデフォルトの「Acer」から「User」に変更します。 [Screen Capture] を押して起動時スクリーンをカスタマイズします。 - 操作を確認するためのダイアログボックスが表示されます。現在の画像を起動時スクリーンとして使用する場合は [Yes] を選択してください。キャプチャ範囲は赤い線で囲まれたエリアです。スクリーンキャプチャを中止して OSD を終了する場合は、[No] を選択してください。 - スクリーンキャプチャを実行中であることを知らせるメッセージが表示されます。 - スクリーンキャプチャが完了するとこのメッセージは消え、元のディスプレイが表示されます。 - 下に示す通りカスタマイズした起動時スクリーンは、新しい入力信号が検出されたとき、またはプロジェクトを再起動したときに有効となります。



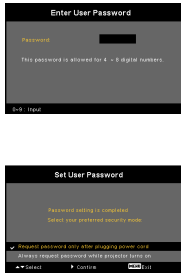


注意：このスクリーンキャプチャ機能は縦横比 4:3 でしか使用することができません。

注意：XGA モデルでは、最高の画質を得るためにこの機能を実行する前に、PC の解像度を 1024 x 768 に設定されるよう推奨します。

注意：SVGA モデルでは、最高の画質を得るためにこの機能を実行する前に、PC の解像度を 800 x 600 に設定されるよう推奨します。

Lamp Hour Elapse	ランプの使用合計時間が表示されます（時間単位）。
Lamp Reminding	ランプが寿命に達する 30 時間前に警告を表示します。
Lamp Hour Reset	[Yes] を選択した後  を押すと、ランプ時間カウンターが 0 にリセットされます。
Security 	Security このプロジェクトには管理者がプロジェクトの使用を管理できるように、優れたセキュリティ機能が備わっています。  を押して [Security] 設定を変更します。セキュリティ機能が有効になっている場合は、セキュリティ設定を変更する前に [Administrator Password] を入力する必要があります。 • [On] を選択すると、セキュリティ機能が有効になります。このときにパスワードを入力してください。詳細は「User Password」をお読みください。 • セキュリティ機能が [Off] に設定されている場合は、パスワードを入力しなくてもプロジェクトを起動することができます。
Security 	Timeout(Min.) [Security] が [On] に設定され有効になっている場合は、管理者はタイムアウト機能を設定することができます。 •  または  を押してタイムアウト間隔を選択してください。 • 間隔は 10 分から 990 分の範囲で設定することができます。 • タイムアップすると、再びパスワードを入力しなければなりません。 • [Timeout(Min.)] のデフォルト設定は [Off] です。 • セキュリティ機能が有効になると、プロジェクトを起動するとパスワードを入力するよう要求されます。このダイアログボックスには [User Password] と [Administrator Password] の両方を入力することができます。

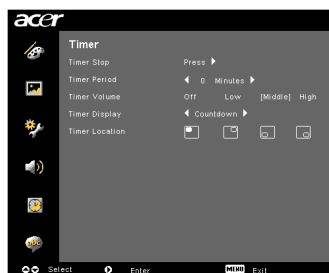
	User Password ● を押して [User Password] を設定または変更します。 - リモコンでパスワードを設定するときには数値キーを使用し、[MENU] を押して確認します。 - 文字を削除するには、◀ を押します。 [Confirm Password] というメッセージが表示されたら、パスワードを入力してください。 - パスワードは 4 文字から 8 文字の範囲で設定してください。 [Request password only after plugging power cord] を選択すると、電源コードを接続するたびにパスワードの入力を求められます。 [Always request password while projector turns on] を選択すると、プロジェクタをオンにするたびにパスワードの入力を求められます。
	Administrator Password [Administrator Password] は [Enter Administrator Password] と [Enter Password] の両ダイアログボックスで使用することができます。 ● を押して [Administrator Password] を変更します。 [Administrator Password] のデフォルト設定は [1234] です。 管理者パスワードを忘れてしまった場合は、次の手順にしたがって管理者パスワードを引き出してください。 6 桁の [Universal Password] がセキュリティカードに印刷されています (梱包箱のアクセサリを確認してください)。この独自のパスワードは、管理者パスワードがどのように設定されていたとしても、いつでもプロジェクタを起動できる数字です。 - このセキュリティカードと番号を紛失してしまった場合は、Acer サービスセンターへお問い合わせください。
	Lock User Startup Screen ユーザー起動時スクリーンのロックはデフォルトにより [Off] に設定されています。この機能が [On] に設定されている場合は、使用が許可されないユーザーが起動時スクリーンを勝手に変更できないように、起動時スクリーンを変更することはできません。起動時スクリーンのロックを解除するには、[Off] を選択してください。
Reset	[Yes] を選択した後、● を押すと、すべてのメニューのパラメータがデフォルト値に戻されます。

オーディオ設定



Volume	◀ を押すと音量が下がります。 ▶ を押すと音量が上がります。
Mute	- 無声にするには [On] を選択します。 - 音声を戻すには [Off] を選択します。
Power On/Off Volume	プロジェクタをオン/オフにしたときの通知音量を調整します。
Alarm Volume	警告時の音量を調整します。

タイマー設定



Timer Start	▶ を押すとタイマーを開始 / 停止することができます。
Timer Period	◀ または ▶ を押してタイマーの時間を調整します。
Timer Volume	タイマーが有効になっており、タイムアップしたときの警告の音量を調整します。
Timer Display	◀ または ▶ を押してスクリーンに表示するタイマーのモードを選択します。
Timer Location	タイマーを表示する位置を選択します。

言語設定



Language	多言語 OSD メニューを選択します。▲ ▼ を使ってメニュー言語を選択してください。 ▶ を押して選択内容を確認します。
----------	--

付録

トラブルシューティング

本製品をご使用になる上で問題が生じる場合は、トラブルシューティングに記載される対処法にしたがってみてください。それでも問題を解消できない場合は、お近くの販売店またはサービスセンターへお問い合わせください。

画像の問題と対処法

#	問題	対処法
1	スクリーンに画像が表示されない	「装着」セクションに参照し、接続してください。 - コネクタピンが曲がったり、折れたりしていないことを確認してください。 - 投射ランプがしっかりと装着されていることを確認してください。詳細は、「ランプの交換」をお読みください。 - レンズドアが開かれ、プロジェクタの電源がオンになっていることを確認してください。
2	画像の一部、スクロール、画像が正しく表示されない (PC (Windows 95/ 98/2000/XP) に対して)	- リモコンまたはコントロールパネルで [RESYNC] を押します。 - 画像が正しく表示されない場合： 「マイコンピュータ」 - 「コントロールパネル」を開き、「ディスプレイ」アイコンをダブルクリックします。 「設定」タブを選択します。 - ディスプレイの表示解像度が UXGA (1680 x 1050) (P5260E/P5260EP シリーズ) または WXGA+ (1400 x 900) (P1165E/P1165EP シリーズ) 以下、または同等のディスプレイ解像度に設定されていることを確認してください。 「詳細プロパティ」ボタンをクリックします。 それでも問題を解消できない場合は、使用しているモニタディスプレイを変えて、次の手順にしたがってください： - 解像度設定が UXGA (1680 x 1050) (P5260E/P5260EP シリーズ) または WXGA+ (1400 x 900) (P1165E/P1165EP シリーズ) 以下、または同等のディスプレイ解像度に設定されていることを確認してください。 「モニタ」タブで「変更」ボタンをクリックします。 「すべてのデバイスを表示」をクリックします。次に「SP」欄で「標準モニタの種類」を選択し、「モデル」欄で必要な解像度モードを選択します。 - モニタディスプレイの解像度設定が UXGA (1680 x 1050) (P5260E/P5260EP シリーズ) または WXGA+ (1400 x 900) (P1165E/P1165EP シリーズ) 以下、または同等のディスプレイ解像度に設定されていることを確認してください。

3	画像の一部、スクロール、画像が正しく表示されない (ノートブックに対して)	- リモコンまたはコントロールパネルで [RESYNC] を押しします。 - 画像が正しく表示されない場合： 2番目のアイテム (上記) の手順にしたがってコンピュータの解像度を調整します。 - 相当するボタンを押して出力設定を切り替えてください。例えば、[Fn]+[F4]、Compaq [Fn]+[F4]、Dell [Fn]+[F8]、Gateway [Fn]+[F4]、IBM [Fn]+[F7]、HP [Fn]+[F4]、NEC [Fn]+[F3]、Toshiba [Fn]+[F5] - 解像度を変更できなかったり、モニタが静止したりする場合は、プロジェクタも含めたすべての装置を再起動してください。
4	ノートブックコンピュータのスクリーンにプレゼンテーションが表示されない	- Microsoft® Windows® ベースのノートブックを使用する場合：ノートブックの中には第2ディスプレイ装置が使用されると、ノートブックのスクリーンを消画するものがあります。スクリーンを再度表示する方法は、ノートブックによって異なります。詳細はノートブックの取り扱い説明書をお読みください。 - Apple® Mac® ベースのノートブックを使用する場合：[システム環境設定] で [表示] を開き、[ビデオミラーリング] を [オン] にします。
5	画像が安定しない、またはちらつく	[Tracking] を使って補正してください。詳細は、「画像の設定」をお読みください。 - コンピュータのディスプレイカラーを変更してください。
6	画像に縦にちらつく線が走る	[Frequency] を使って調整してください。詳細は、「画像の設定」をお読みください。 - グラフィックカードのディスプレイモードを確認した後、プロジェクタと互換性を持たせるように再構成します。
7	画像のピントがずれる	- レンズドアが開いていることを確認してください。 - プロジェクタのレンズのフォーカスリングを調整します。 - 投射スクリーンとプロジェクタの距離が1.0～12.0メートルまでの必要な範囲内にあることを確認してください。詳細は「距離とズームにより画像サイズを調整するには」をお読みください。
8	ワイドスクリーン DVD タイトルを表示すると画像が引き伸ばされる	アナモルフィックまたは縦横比が 16:9 でエンコードされた DVD を再生する場合は、次の設定を調整する必要があるかもしれません： - Letterbox(LBX) フォーマットの DVD タイトルを再生する場合は、プロジェクタの OSD でフォーマットを Letterbox(LBX) に変更してください。 4:3 フォーマットの DVD タイトルを再生する場合は、プロジェクタの OSD でフォーマットを 4:3 に変更してください。 - それでも画像が引き伸ばされたままの場合は、縦横比を調整する必要があります。DVD プレーヤーでディスプレイフォーマットを 16:9 (ワイド) に設定してください。

9	画像が小さすぎる、または大きすぎる	- プロジェクタの上面にあるズームレバーを調整します。 - プロジェクタとスクリーンの距離を縮める、または離してください。 - リモコンまたはコントロールパネルで [MENU] を押します。[Image setting --> Aspect Ratio] を選択し、別の設定を試してみてください。
10	画像の辺が斜めに歪む	- 可能であれば、画像がスクリーンの中央に表示されるようにプロジェクタの位置を調整してください。 - 辺が縦になるように、コントロールパネルまたはリモコンの [キーストーン Δ / □] を押します。
11	画像が反転する	OSD で [Image --> Projection] を選択し、投射方向を調整します。

プロジェクタの問題

#	問題の状態	対処法
1	プロジェクタはどのような操作にも応答しくなくなります	可能であればプロジェクタの電源を一度切り、電源に接続する前に、電源コードを抜いた後、約 30 秒間お待ちください。
2	ランプが焼き切れてしまうか、小さい爆発音がします	ランプが寿命に達するとランプが焼き切れてしまい、小さい爆発音がする場合があります。このような場合は、ランプモジュールを交換しなければプロジェクタをオンにすることはできません。ランプを交換するには、「ランプの交換」に記載されている手順にしたがってください。

OSD メッセージ

#	問題の状態	メッセージ警告
1	メッセージ	ファンエラー – システムファンが作動していません。 Fan Fail. Lamp will automatically turn off soon. プロジェクタが過熱しています – プロジェクタが推奨する作動温度を超えたため、再び使用するには冷却する必要があります。 Projector Overheated. Lamp will automatically turn off soon. ランプを交換してください – ランプが寿命に達しようとしています。交換の準備をしてください。 Replacement suggested. Lamp is approaching the end of its useful life in full power operation.

LED と アラームの説明

LED メッセージ

メッセージ	ランプ LED	温度 LED	電源 LED	
	赤	赤	赤	青
スタンバイ (電源コード接続時)	--	--	V	--
ランプ再試行	--	--	--	すばやく 点滅
(電源を切る) (冷却段階)	--	--	すばやく 点滅	--
電源を切る (冷却完了)	--	--	V	--
エラー -- 温度エラー	--	--	--	V
エラー -- ファンロック エラー	--	すばやく 点滅	--	V
エラー -- ランプの故障	V	--	--	V
エラー -- カラーホイール エ ラー	すばやく 点滅	--	--	V

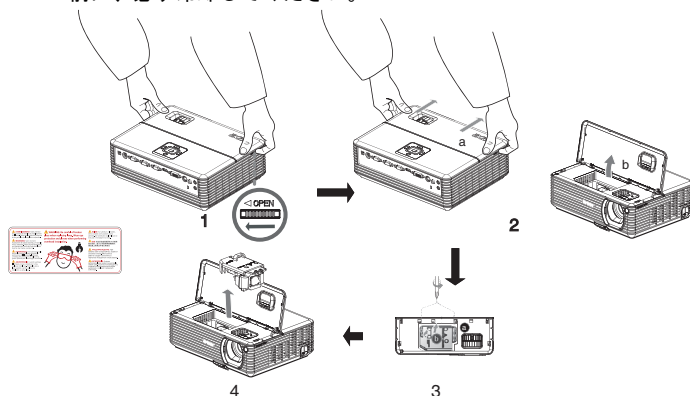
ランプの交換

ドライバを使ってカバーのネジを外し、ランプを取り出します。

プロジェクタがランプの寿命を検出します。次のような警告メッセージが表示されます。**[Lamp is approaching the end of its useful life in full power operation. Replacement Suggested!]** このようなメッセージが表示されたら、できるだけ早くランプを交換してください。ランプを交換する前に、プロジェクタが冷却するまで最低でも 30 分間お待ちください。



警告：ランプコンパートメントは高温になります。ランプを交換する前に、必ず冷却してください。



ランプを交換するには

- 1 [電源] ボタンを押してプロジェクタの電源を切ります。
- 2 プロジェクタが完全に冷却するまで、最低でも 30 分間お待ちください。
- 3 電源コードを外します。
- 4 トップカバーに両手を置いてください。
- 5 プロジェクタの両側にある「OPEN」ボタンを同時に押してください。(図 1)
- 6 トップカバーをゆっくりと押してスライドさせ、トップカバーを開きます。(図 2)
- 7 ランプモジュールを固定している 2 個のネジを外し、ランプバーを持ち上げます。(図 3)
- 8 ランプモジュールを強く引き出してください。(図 4)

ランプモジュールを交換するには、これと逆の手順にしたがってください。

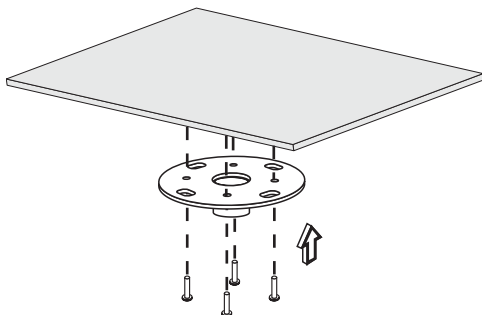


警告：身体への損傷を防止するために、ランプモジュールを落としたり、電球に触れたりしないでください。ランプを落とすと、電球が破裂してケガの原因となる場合があります。

天井取り付け

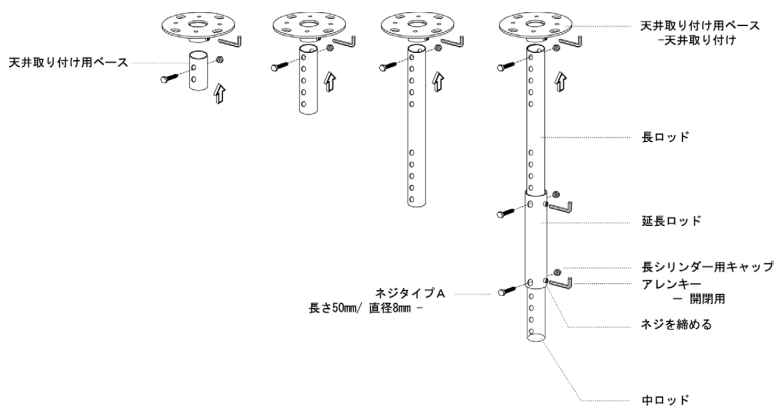
天井にプロジェクトを設置するには、次の手順にしたがってください：

- 1 天井の建築構造上安定した場所に4ヶ所穴を開けて、マウントベースを固定します。

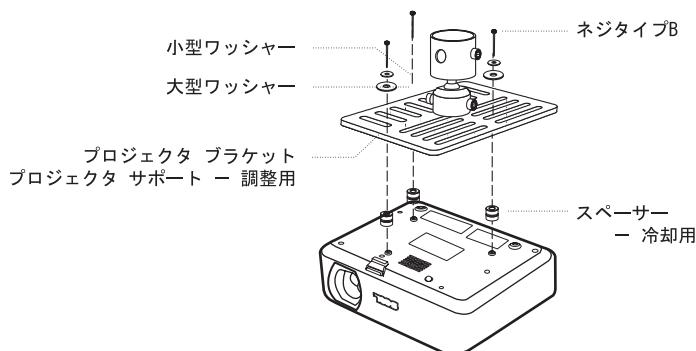


注意：ネジは含まれていません。天井の種類に合ったネジをご用意ください。

- 2 適切なタイプの4シリンダーネジを使って天井ロッドを固定します。

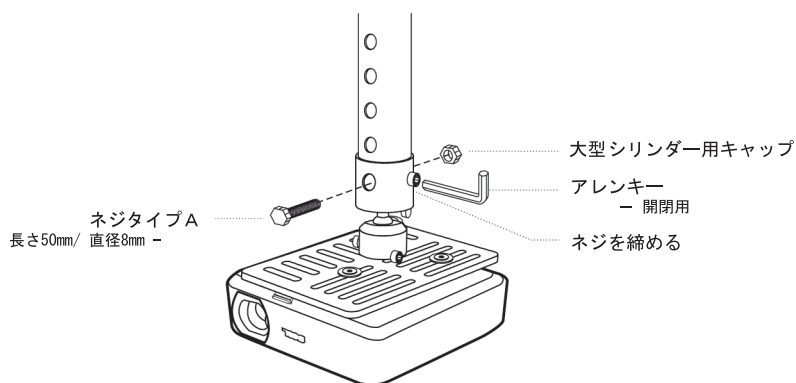


- 3 プロジェクタのサイズに合った適切な数のネジでプロジェクタを天井取り付けブラケットに取り付けます。

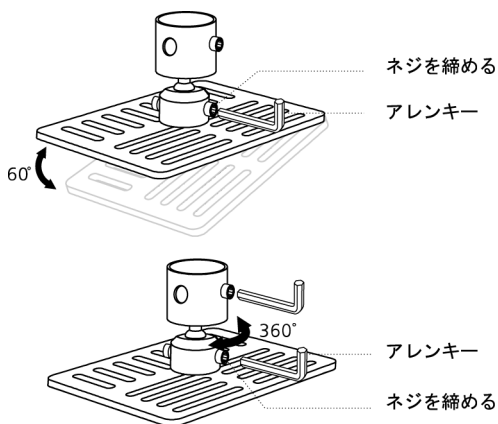


注意： プロジェクタが過熱してしまわないように、ブラケットとプロジェクタの間には十分なスペースを空けるようお薦めします。必要であれば、ワッシャー2個を使って補強してください。

- 4 天井ロッドに天井ブラケットを取り付けます。



- 5 必要に応じて角度と位置を調整します。



注意：各モデルの適切なネジとワッシャーの種類については、下の表を参照してください。ネジパックに直径 3mm のネジが用意されています。

モデル	ネジタイプ B		ワッシャータイプ	
	直径 (mm)	長さ (mm)	大	小
P5260E/P5260EP	3	20	✓	✓
P1165E/P1165EP	3	20	✓	✓

仕様

下記の規格は将来予告なく変更される場合があります。最終的な使用については、Acer のマーケティング文書を参照してください。

投射システム	DLP™
解像度	P5260E/P5260EP : ネイティブ : XGA (1024 x 768) 最高 : UXGA (1680 x 1050) P1165E/P1165EP : ネイティブ : SVGA (800 x 600) 最高 : WXGA+ (1440 x 900)
輝度	P5260E/P5260EP : 2700/2800 ANSI ルーメン P1165E/P1165EP : 2400/2500 ANSI ルーメン
コンピュータの互換性	IBM PC および互換機、Apple Macintosh、iMac、VESA 規格 : SXGA、SVGA、VGA (リサイズ)
ビデオの互換性	NTSC (3.58/4.43)、PAL (B/D/G/H/I/M/N)、SECAM (B/D/G/K/K1/L)、HDTV (720p、1080i)、EDTV (480p、576p)、SDTV (480i、576i)
縦横比	4:3 (ネイティブ), 16:9
コントラスト比	2100:1
表示可能な色数	1670 万色
ノイズレベル	P5260E/P5260EP : 32 dBA (標準)、30 dBA (省電力時) P1165E/P1165EP : 30 dBA (標準)、28 dBA (省電力時)
投射レンズ	F / 2.51 - 2.69、f = 21.95 mm - 24.18 mm (手動ズームレンズ 1.1x)
投射スクリーンサイズ (対角)	23" (0.58 m) - 300" (7.62 m)
投射距離	3.3' m (1.0 m) - 39.4' m (12.0 m)
投射率	50" @ 2 m (1.97 - 2.16:1)
水平スキャンレート	31.5 - 100 kHz
垂直リフレッシュスキャンレート	56 - 85 Hz
ランプの種類	P5260E/P5260EP : 230 W (ユーザーが交換可能なランプ) P1165E/P1165EP : 200 W (ユーザーが交換可能なランプ)
ランプの寿命	P5260E/P5260EP : 3000 時間 (標準)、5000 時間 (省電力時) P1165E/P1165EP : 3000 時間 (標準)、4000 時間 (省電力時)
キーストーン補正	+/- 40 度
オーディオ	2 W 出力の内部スピーカー
重量	2.8 kg (6.17 lbs.)
寸法 (W x D x H)	300 x 228 x 100 mm (11.81 x 8.98 x 3.94 インチ)
リモートコントロール	レーザーポインタ機能
デジタルズーム	2x
電源	AC 入力 100 - 240 V、50/60 Hz

消費電力	P5260E/P5260EP : 280 W P1165E/P1165EP : 250 W
操作温度	5°C ~ 35°C / 41°F ~ 95°F
均一性	85%
I/O コネクタ	- 電源ソケット x 1 - VGA 入力 x 1 - コンポジットビデオ x 1 - S-Video x 1 - VGA 出力 x 1 - DVI-D x 1 : HDCP 対応 3.5mm オーディオジャック入力 x 1 - RS232 x 1 - USB x 1 : リモートコンピュータ操作 以下は P5260E/P5260EP シリーズにのみ提供されるアイテムです : - HDMI x 1 - VGA 入力 x 2 3.5mm オーディオジャック入力 x 2
標準のパッケージ内容	- AC 電源コード x 1 - VGA ケーブル x 1 - コンポジットビデオ ケーブル x 1 - DVI-D ケーブル x 1 (P5260E/P5260EP シリーズ) - リモコン x 1 - バッテリー x 2 (リモコン用) - ユーザーガイド (CD-ROM) x 1 - クイックスタートガイド x 1 - セキュリティカード x 1 - キャリーケース x 1

* デザインと規格は将来予告なく変更される場合があります。

互換性モード

A. VGA アナログ

1 VGA アナログ - PC 信号

モード	解像度	垂直周波数 [Hz]	水平周波数 [KHz]
VGA	640x480	60	31.50
	640x480	72	37.90
	640x480	75	37.50
	640x480	85	43.30
	720x400	70	31.50
	720x400	85	37.90
SVGA	800x600	56	35.20
	800x600	60	37.90
	800x600	72	48.10
	800x600	75	46.90
	800x600	85	53.70
	832x624	75	49.725
XGA	1024x768	60	48.40
	1024x768	70	56.50
	1024x768	75	60.00
	1024x768	85	68.70
SXGA	1152x864	70	63.80
	1152x864	75	67.50
	1280x1024	60	63.98



注意：アスタリスク (*) が付いたものは、P5260E/ P5260EP シリーズのみのアイテムです

	*1280x1024	75	79.98
	*1280x1024	85	91.10
QuadVGA	1280x960	60	59.70
	*1280x960	75	75.23
SXGA+	*1400x1050	60	63.98
UXGA	*1600x1200	60	75.00
Power Mac G4	640x480	66.6(67)	34.93
	800x600	60	37.90
	1024x768	60	48.40
	1152x870	75	68.68
	1280x960	75	75.00
	1280x1024	60	63.98
PowerBook G4	640x480	60	31.35
	640x480	66.6(67)	34.93
	800x600	60	37.90
	1024x768	60	48.40
	1152x870	75	68.68
	1280x960	75	75.00
	1280x1024	60	63.98
i Mac DV (G3)	1024x768	75	60.00

2 VGA アナログ - Extended Wide タイミング

モード	解像度	垂直周波数 [Hz]	水平周波数 [KHz]
WXGA	1280x768	60	48.36
	1280x768	75	57.60
	*1280x768	85	68.630



注意：アスタリスク (*) が付いたものは、P5260E/ P5260EP シリーズのみのアイテムです

	1280x720	60	45.00
	1280x800	60	49.702
	1360x768	60	47.72
	*1440x900	60	55.935

B. DVI デジタル

1 DVI - PC 信号

モード	解像度	垂直周波数 [Hz]	水平周波数 [KHz]
VGA	640x480	60	31.50
	640x480	72	37.90
	640x480	75	37.50
	640x480	85	43.30
SVGA	800x600	56	35.20
	800x600	60	37.90
	800x600	72	48.10
	800x600	75	46.90
	800x600	85	53.70
	832x624	75	49.725
XGA	1024x768	60	48.40
	1024x768	70	56.50
	1024x768	75	60.00
	1024x768	85	68.70
SVGA	1152x864	70	63.80
	1152x864	75	67.50



注意：アスタリスク (*) が付いたものは、P5260E/ P5260EP シリーズのみのアイテムです

	1152x864	85	77.10
	1280x1024	60	63.98
	*1280x1024	72	76.97
	*1280x1024	75	79.98
	*1280x1024	85	91.10
QuadVGA	1280x960	60	59.70
	*1280x960	75	75.23
SVGA+	*1400x1050	60	63.98
UXGA	*1600x1200	60	75.00
Power Mac G4	640x480	66.6(67)	34.93
	800x600	60	37.90
	1024x768	60	48.40
	1152x870	75	68.68
	1280x960	75	75.00
	1280x1024	60	63.98
PowerBook G4	640x480	60	31.35
	640x480	66.6(67)	34.93
	800x600	60	37.90
	1024x768	60	48.40
	1152x870	75	68.68
	1280x960	75	75.00
	1280x1024	60	63.98
i Mac DV (G3)	1024x768	75	60.00

2 DVI - Extended Wide タイミング

モード	解像度	垂直周波数 [Hz]	水平周波数 [KHz]
WXGA	1280x768	60	48.36



注意：アスタリスク (*) が付いたものは、P5260E/ P5260EP シリーズのみのアイテムです

	1280x768	75	57.60
	*1280x768	85	68.630
	1280x720	60	45.00
	1280x800	60	49.702
	1360x768	60	47.72
	1440x900	60	55.935

3 DVI - ビデオ信号

モード	解像度	垂直周波数 [Hz]	水平周波数 [KHz]
480i (NTSC)	720x480(1440x480)	59.94(29.97)	27.00
480p (NTSC)	720x480	59.94	31.47
576i (PAL)	720x576(1440x576)	50(25)	27.00
576p (PAL)	720x576	50	31.25
720p (NTSC)	1280x720	60	45.00
720p (PAL)	1280x720	50	37.50
1080i (NTSC)	1920x1080	60(30)	28.13
1080i (PAL)	1920x1080	50(25)	33.75
1080p (NTSC)	*1920x1080	60	67.50
1080p (PAL)	*1920x1080	50	56.25



注意：アスタリスク (*) が付いたものは、P5260E/ P5260EP シリーズのみのアイテムです

規定と安全のための注意

FCC 規格

この装置は、FCC 規定の第 15 条に準じ、Class B デジタル機器の制限に従っています。これらの制限は家庭内設置において障害を防ぐために設けられています。本デバイスはラジオ周波エネルギーを発生、使用し、さらに放射する可能性があり、指示にしたがってインストールおよび使用しなければ、ラジオ通信に有害な障害を与える場合があります。

しかしながら、特定の 방법으로設置すれば障害を発生しないという保証は何もありません。このデバイスがラジオや TV 受信装置に有害な障害を与える場合は（デバイスの電源を一度切って入れなおすことにより確認できます）、障害を取り除くために次の方法にしたがってください：

- 受信アンテナの方向を変えるか、設置場所を変える。
- このデバイスと受信装置の距離をあげる。
- このデバイスの受信装置とは別のコンセントに接続する。
- ディーラーか経験のあるラジオ / テレビ技術者に問い合わせる。

注意：シールド付きケーブル

FCC 規定に準拠するために、その他のコンピューティング装置へ接続する場合は必ずシールド付きケーブルをお使いください。

注意：周辺機器

本製品にはクラス B に準拠した周辺機器（入力装置、端末、プリンタなど）のみ接続することができます。クラス B に準拠していない周辺機器を接続すると、ラジオや TV 受信装置に干渉を生じさせる場合があります。

警告

製造元からの文書による許可なく変更を加えたり、改造したりすると、FCC が許可した本製品を操作する権利が失われます。

操作条件

このデバイスは FCC 規定の第 15 条に準拠しています。次の 2 つの条件にしたがって操作を行うことができます：(1) このデバイスが有害な障害を発生しないこと (2) 不具合を生じ得るような障害に対応し得ること。

カナダ — 低電源ライセンス免除無線 通信装置 (RSS-210)

a 一般情報

次の 2 つの条件にしたがって操作を行うことができます：

1. このデバイスが障害を発生しないこと
2. 不具合を生じ得るような障害に対応し得ること。

b 2.4 GHz 帯域での操作

ライセンスされたサービスへのラジオ干渉を防止するために、本装置は室内で使用することを前提として設計されており、野外で設置する場合はライセンスを取得する必要があります。

EU 加盟国の準拠

Acer はここに本装置が 1999/5/EC 指令の必須条件とその他の関連条項に準拠していることを宣言します。(完全な文書をお読みにになりたい方は、<http://global.acer.com/support/certificate.htm> をご覧ください。)

無線装置に関する規定



注意： 次の規定情報は、ワイヤレス LAN および Bluetooth 機能対応モデル用です。

全般

本製品は無線使用が許可された国または地域における無線周波と安全のための規格に準拠しています。構成によって、本製品には無線装置（ワイヤレス LAN、Bluetooth モジュールなど）が含まれている場合と、含まれていない場合があります。以下の情報は、無線装置が含まれた製品用です。

ヨーロッパ連合（EU）

R&TTE 指令 1999/5/EC により、次の調和規定に従っています：

- **第 3.1(a) 条 健康と安全について**
 - EN60950-1:2001
 - EN50371:2002
- **第 3.1(b) 条 EMC**
 - EN301 489-1 V1.4.1:2002
 - EN301 489-17 V1.2.1:2002
- **第 3.2 条 スペクトルの使用について**
 - EN300 328 V1.5.1:2004

当該国

2004 年 5 月時点の欧州連合加盟国：ベルギー、デンマーク、ドイツ、ギリシャ、スペイン、フランス、アイルランド、イタリア、ルクセンブルグ、オランダ、オーストリア、ポルトガル、フィンランド、スウェーデン、イギリス、エストニア、ラトビア、リトアニア、ポーランド、ハンガリー、チェコ共和国、スロバキア共和国、スロベニア、キプロスとマルタ。本製品はヨーロッパ連合加盟国およびノルウェー、スイス、アイスランド、リヒテンシュタインで使用することができます。本装置はご使用になる国の規定および制限に準拠して使用しなければなりません。詳しくは、ご使用になる国の弊社オフィスにお問い合わせください。



Acer America Corporation
333 West San Carlos St., San Jose
CA 95110, U. S. A.
Tel : 254-298-4000
Fax : 254-298-4147
www.acer.com



**Federal Communications Commission
Declaration of Conformity**

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

The following local Manufacturer / Importer is responsible for this declaration:

Product:	DLP Projector
Model Number:	PNX0709/PSV0710
Machine Type:	P5260E, P5260EP/ P1165E, P1165EP
Name of Responsible Party:	Acer America Corporation
Address of Responsible Party:	333 West San Carlos St. San Jose, CA 95110 U. S. A.
Contact Person:	Acer Representative
Phone No.:	254-298-4000
Fax No.:	254-298-4147



Declaration of Conformity

We,

Acer Computer (Shanghai) Limited

3F, No. 168 Xizang medium road, Huangpu District,
Shanghai, China

Contact Person: Mr. Easy Lai

Tel: 886-2-8691-3089

Fax: 886-2-8691-3120

E-mail: easy_lai@acer.com.tw

Hereby declare that:

Product:	DLP Projector
Trade Name:	Acer
Model Number:	PNX0709/ PSV0710
SKU Number:	P5260E, P5260EP/ P1165E, P1165EP

Is compliant with the essential requirements and other relevant provisions of the following EC directives, and that all the necessary steps have been taken and are in force to assure that production units of the same product will continue comply with the requirements.

EMC Directive 89/336/EEC, amended by 92/31/EEC and 93/68/EEC as attested by conformity with the following harmonized standards:

- . EN55022:1998 + A1:2000 + A2:2003, AS/NZS CISPR22:2002, Class B
- . EN55024:1998 + A1:2001 + A2:2003
- . EN61000-3-2:2000, Class D
- . EN61000-3-3:1995 + A1:2001

Low Voltage Directive 2006/95/EC as attested by conformity with the following harmonized standard:

- . EN60950-1:2001

RoHS Directive 2002/95/EC on the Restriction of the Use of certain Hazardous Substances in Electrical and Electronic Equipment